

104-39

問題文

アンピシリンによる抗菌作用の標的はどれか。1つ選べ。

1. 細胞膜リン脂質
2. DNA依存性RNAポリメラーゼ
3. リボソーム30Sサブユニット
4. リボソーム50Sサブユニット
5. トランスペプチダーゼ

解答

5

解説

アンピシリンは、 **β -ラクタム系抗生物質**です。作用点は、細胞壁です。細胞壁合成を阻害します。より詳しくは、細胞壁成分であるペプチドグリカン伸長阻害です。トランスペプチダーゼを阻害することにより作用します。

選択肢 1 ですが

細胞膜が作用点といえば抗真菌薬が代表的です。例えばアゾール系は、真菌細胞膜成分のエルゴステロール生合成阻害薬です。

選択肢 2 ですが

DNA 依存性 RNA ポリメラーゼ が作用点といえば、**リファンピシン** です。抗生物質の一種です。抗結核薬です。

選択肢 3,4 ですが

30S が作用点 と来れば、**テトラサイクリン系 抗菌薬**です。ミノサイクリンなどが代表例です。50S が作用点は、マクロライド系などです。

以上より、1~4 誤りなので正解は 5 です。

類題，